取扱説明書番号
D149-RGXZ

室内用

Bluetooth®

スピーカーシステム & デジタルバスクロック
取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造 発売元 リズム株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2101)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みのうえでご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられないときは、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について
電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

付属品 お試し用電池 4個、 リチウム電池CR2032(お試し用) 1個、 Bluetooth接続ガイド 1枚、
取扱説明書・保証書 本書

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ⃠は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
- ●電池に傷をつけない。 ●電池を分解しない。
- ●電池をショートさせない。 ●電池を充電しない。
- ●電池を加熱しない。 ●電池を火の中に入れない。

医療電気機器が設置されたところで使わない
電波が電気医療機器に影響を与え誤作動して事故を招くおそれがあります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部に近づけない
電波が心臓ペースメーカーに影響を与えるおそれがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない
- ●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- ●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

自動ドア、火災報知機の自動制御機器の近くで使わない
電波により、自動制御機器が誤作動して事故を招くおそれがあります。

梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

⚠注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

サウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

石けんや洗剤、入浴剤など水以外の液体をかけない
防水性能が低下する原因になります。

時計の内部をぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

下記のような場所では使わない
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
- ●直射日光が当たる所。 ●暖房機器の風が当たる所。
- ●温度が−10℃以下または+50℃以上の所。
- ●火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。
- ●強い磁気を発生させる機器のそば。
- ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ●プール、温泉場などガスの発生する所。
- ●調理場など多くの油を使用する所。
- ●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

ボタンを連打しない
故障や破損の原因になります。

液晶から漏れた液に素手でさわらない
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

温度表示について

本製品は、一般的なご家庭などの室内用です。
○センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度を反映するまでには時間がかかります。
○直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
○測定する高さによっても、温度に違いが出ることがあります。
※厳密な温度管理をする用途には適していません。また、温度の証明や商取引には使用できません。
測定範囲を超えたときの表示とその意味 温度「Hi」50℃を超える高温 「Lo」−9.9℃未満の低温

保証書

GUARANTEE

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番 ※販売店印(所在地、店舗名、電話番号)

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 ご氏名 様
ご住所
TEL( ) −

※印は販売店記入

- ●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- ●この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ●ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について
※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますのでご注意ください。
1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。
8. 電池の交換。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- ●プラス(+)、マイナス(−)を間違えない。
- ●長期間使用しないときは電池を取り外す。
- ●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- ●古い電池と新しい電池を混ぜない。
- ●時計が動いていても定期的に交換する。
- ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- ●幼児の手が届かない所に置く。
- ●種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について
- ●本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- ●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■電池の寿命について
- ●付属の電池は、お試し用として工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- ●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

乾電池の交換時期お知らせ機能 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

乾電池の交換時期になると、が表示されます。
このマークが表示されたら、お早めに乾電池を交換してください。
※バックアップ電池の交換時期は表示されません。

⚠注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- ●液晶表示が薄くなったり、アラーム音やスピーカーからの音が鳴らなくなったときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。
- ●時刻を表示していても、乾電池は5年を目安に交換する。
- ●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- ●電池の⊕⊖を逆に入れない。

おもな製品仕様

総合	
使用温度範囲	−10 ～ 50℃ ＊結露しないこと
液晶表示可読温度範囲	0 ～ 40℃
推奨電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 4個 コイン形リチウム電池 CR2032 1個(バックアップ用)
電池寿命	単3形アルカリ乾電池 約30時間(スピーカー連続使用) ※約2カ月使用可能 30分/日使用 約5年間(スピーカー不使用時) ※タイマーアラーム30秒 2回/日使用
温度表示範囲	−9.9 ～ 50℃
測定精度	±2℃
測定間隔	約1分
防塵防滴機能	防沫形 保護等級 JIS IPX4相当

表記の電池寿命は目安です。使用用途や環境により異なります。

時計部	
時計機能	クオーツ方式
時刻表示	12時間表示(AM/PM表示)
時間精度	平均月差 ±30秒 常温中
月日表示	2016～2099年まで対応
スピーカー部	
スピーカー	内磁型フルレンジ 直径40mm × 2個
実用最大出力	3W + 3W
Bluetooth部	
バージョン	Bluetooth Ver.2.1+ EDR(Class 2)
対応プロファイル	A2DP、AVRCP(Volume Up/Down)
対応コーデック	SBC
対応コンテンツ保護	SCMS-T 非対応 ※コンテンツ保護された音源は再生できない場合があります
変調方式	FHSS(周波数ホッピング方式)
送信出力	Class 2(2.5mW)
最大通信距離	見通し距離約10m
使用周波数帯	2.4GHz帯

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなったりすることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、むらに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※付属の乾電池(マンガンまたはアルカリ)は、動作確認のためのお試し用です。工場出荷時に同梱してますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。使用する電池は、お試し用電池の種類に関わらず、「おもな製品仕様」に記載の推奨電池をお求めください。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせ前に
この取扱説明書とご使用のBluetooth機器の取扱説明書をもう一度お調べください。

お問い合わせ先
お客様相談室 0120-557-005 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してある型番をお伝えください。 例 8RDA○○○ (○印は数字です。)

Bluetooth®とは
Bluetooth(ブルートゥース)は、デジタル機器用の近距離無線通信規格の1つです。
本機はBluetooth機器と通信することにより、音楽などを再生することができます。
Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG 所有であり、ライセンス取得者「リズム株式会社」のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。

機器認定について
本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として認定を受けています。従って、無線局の免許は必要ありません。ただし、本機の分解や改造、定格表示を消すなどの行為を行うと法律により罰せられることがあります。

使用周波数帯について
本機は、2.4GHz帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。
本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
1. 使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、Bluetoothの機能を停止してください。
3. その他不明な点やお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室へご相談ください。

2.4FH1 左図は2.4GHz帯の周波数帯を使用し、FH変調方式、与干渉距離は10mであることを表しています。

使用可能距離について
見通し距離約10m以内で使用してください。障害物や周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。使用可能距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

電波の干渉について
下記の機器でも2.4GHzの周波数帯を使用しているものがあります。
相互に影響を与える可能性があります。
- ●ファクシミリ ●電子レンジ ●無線LAN機器 ●テレビ、ビデオ、パソコンなどワイヤレスAV機器
- ●ゲーム機のワイヤレスコントローラー ●火災報知器 ●工場や倉庫などの物流管理システム
- ●鉄道車両や緊急車両の識別システム ●自動ドア制御システム ●万引き防止システム
- ●アマチュア無線局 ●マイクロ波治療器など

■ 他機器からの影響について
- ●他のBluetooth 対応機器や無線LAN(IEEE802.11b/g)など2.4GHz 帯を使用する機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動かない、雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。
本機とBluetooth機器を接続するときは、
— 無線LAN機器から10m以上離れたところで行う。
— 10m以内のときは無線LAN機器の電源を切る。
- ●放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動かないことがあります。

■ 他機器への影響について
本機から発する電波は、電子医療機器などに影響を与える可能性があり、場合によっては、事故を発生させる原因になりますので注意が必要です。
医療機器への影響については下記のホームページをご覧ください。
総務省 「電波の安全性に関する調査及び評価技術」
ホームページアドレス: http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
電波環境協議会 「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」
ホームページアドレス: http://www.emcc-info.net/info/info2608.html
＊ホームページのアドレスが変更されたり、削除されることがあります。

使用制限について
- ●日本国内のみで使用できます。
- ●すべてのBluetooth 対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ●ワイヤレス通信するBluetooth 対応機器は、Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合していても、Bluetooth対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ●Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。
- ●ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

電池、製品の廃棄
- ●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- ●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

お手入れについて
- ●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

こんなときには

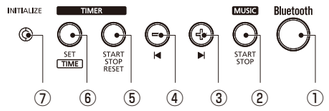
AUDIO IN に接続しても再生されない	○ステレオミニケーブルがオーディオ機器の AUX (外部出力) に接続されているか確認してください。
再生したときステレオにならない	○モノラル音源またはモノラルケーブルをお使いのときはステレオ再生できません。
Bluetoothで音楽が再生されない	○**Bluetooth**マークが点滅:Bluetooth機器を接続してください。 ○**Bluetooth**マークが点灯:Bluetooth機器の音量を上げる。 音量が変わらないときは、他の Bluetooth 機器と接続状態になっている可能性があります。接続をやり直してください。 ○ステレオミニケーブルがオーディオ機器の AUX (外部出力) に接続されているとBluetoothで音楽が再生されません。
音が割れる／ノイズが出る／音が途切れる	○本機の音量を下げてください。 ○Bluetooth機器の音量を下げてください。 ○接続したBluetooth機器を本機に近づけてください。 ○電子レンジや無線LAN機器の近くで使用するとノイズが入りやすくなります。電子レンジや無線LAN機器を停止させてください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

（正面）

（上面操作部）



①Bluetooth ボタン
- Bluetooth機能を設定します。

②MUSIC START/STOP ボタン
- 音楽（音）再生のスタートとストップに使用します。

③[+]（▶）ボタン　④[−]（◀）ボタン
- タイマーセットや時刻合わせを行うときに使用します。
  押してすぐ離す [+]（▶）1つ進む [−]（◀）1つ戻る
  押し続ける [+]（▶）早送り [−]（◀）早戻し
- 音楽（音）の、音量（10段階）の調整や曲の送り・戻しに使用します。
  押してすぐ離す [+]（▶）音量が大きくなる 最大 U 10
  [−]（◀）音量が小さくなる 最小 U01
  2秒以上長押し [+]（▶）曲送り [−]（◀）曲戻し
  ※押し続けても連続で曲送り、曲戻しはしません。

⑤START/STOP/RESET ボタン
（スタート/ストップ/リセット）
- タイマー表示が 00M00S のときに押すとカウントアップします。もう一度押すとストップします。
- タイマーをセットした後に押すとカウントダウンをスタートします。もう一度押すとストップします。
- 2秒以上押すとタイマー表示が 00M00S に戻ります。

⑥SET ボタン
- 日時を合わせるときやタイマーセットに使用します。

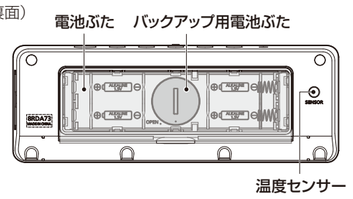
⑦INITIALIZE ボタン（初期化）
- 電池を入れた直後や静電気などにより誤動作したときに押します。工場出荷時の状態（2016年1月1日AM12：00）に初期化されます。

電池について

本製品は**単3形アルカリ乾電池**（4個）と**バックアップ用のコイン型リチウム電池CR2032**（1個）とで駆動します。乾電池で時計とスピーカーへの給電を行い、バックアップ電池で時刻の保持を行っています。

バックアップ電池の電池ぶたは、乾電池収納部の下にあります。
※バックアップ電池により、乾電池の交換時でも時刻を保持します。
※バックアップ電池のみでは、スピーカー機能は使えません。
電池を入れるときは、電池ぶたを外し、使用するときは必ず電池ぶたを取り付けてください。

（裏面）



〈電池ぶたの取り外しかた〉

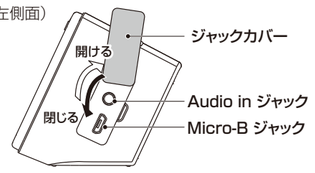
（底面）

電池ぶたの溝にコインなどを差し込み、軽くねじってふたを取り外してください。

⚠注意 **温度センサーの穴を突かないでください。故障の原因となります。**

外部からの給電について

（本体左側面）



市販のMicro-Bケーブルで本機とパソコンやACアダプターなどと接続することにより、本機に給電することができます。
※Micro-Bケーブルを別途ご用意ください。
※給電をするときは、接続する機器の説明書をよくお読みください。

⚠注意 **時計本体の水気をよく拭き取り、乾いた手でケーブルをつないでください。外部入力（Micro-Bジャック）にケーブルをつないだ状態では防水性能を満たしていませんので、水のかかる場所では絶対に使用しないでください。**

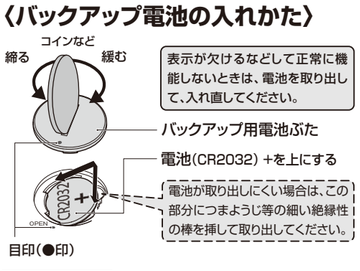
静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときはINITIALIZE（初期化）ボタンを押してください。

1. 使い始めるとき または 電池を交換するとき

⚠注意 **時計本体の水気をよく拭き取り、乾いた手で電池交換を行ってください。**

〈バックアップ電池の入れかた〉

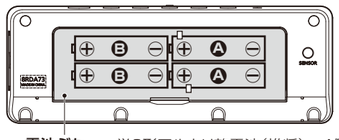


①コインなどを使いバックアップ用電池ぶたの●印をOPENの●印まで回転させ、電池ぶたを取り外します。
②コイン電池の⊕表示を上にして電池を入れます。金属製のピンセットはショートすることがありますので、使用しないでください。
③バックアップ用電池ぶたの●印をOPENの●印に合わせてから、締る方向に回して取り付けます。

⚠危険 **死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容**

小さなお子様の手の届く所に置かない
ボタン電池やコイン電池を飲み込むと短時間で化学やけど、粘膜組織の貫通などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。
ボタン電池やコイン電池は絶対に乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一、飲み込んだときは、直ちに医師に連絡して指示を受けてください。

〈乾電池の入れかた〉



単3形アルカリ乾電池（推奨） 4個

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単3形アルカリ乾電池を4個入れる。
※Ⓐの電池はⒷの位置に入れてから横に移動させる。

⚠注意 **電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。**

2. 日時を合わせる

日付と時刻を合わせる

SETボタンを2秒以上押し続けるとピッと鳴り、日時/時刻セットモードになり、年（西暦）が点滅します。
①西暦年を「+」または「−」で合わせてSETボタンを押す。
②月を「+」または「−」で合わせてSETボタンを押す。
③日を「+」または「−」で合わせてSETボタンを押す。
④時を「+」または「−」で合わせてSETボタンを押す。
AM／PMの表示に注意してください。
⑤分を「+」または「−」で合わせてSETボタンを押す。
以上で設定は終わりです。
※設定中に約30秒間ボタン操作をしないと設定を終わります。
※年、月、日、時、分、いずれかの変更をした時点で、0秒に設定されます。

3. Bluetoothで音楽を聴く （音を再生する）

(1)Bluetooth対応機器と接続する

Bluetooth 規格に対応したスマートフォンやデジタルオーディオプレーヤー、TV などの Bluetooth 機器と接続するには、ペアリング*1と呼ばれる手続きを行います。
○実際にペアリング操作をするときは、接続するBluetooth機器の説明書をお読みください。
○ペアリングが登録*2されている場合は、音楽を再生するときにペアリングの手続きは不要です。
*1ペアリングとは、Bluetooth機器と本機を「ペア」として認識させる作業です。
*2本機に登録可能な Bluetooth 機器は1台のみです。登録を解除して別の Bluetooth 機器と接続する場合は、下記項目の ■ 手動接続 別のBluetooth機器と接続するとき をご参照ください。

■ ペアリングの手順 はじめてBluetooth機器に接続するとき

○本機に1台もペアリング登録されていないときは、Bluetooth機能をONにすると自動的にペアリング待機状態になります。
①**Bluetooth**ボタンを押してください。**Bluetooth**マークが2秒点滅（約6秒間）して登録済みの**Bluetooth**機器をスキャンした後、1秒点滅に変わり、ペアリングの待機状態になります。
※ペアリングの待機時間は約 1 分間です。1 分間を過ぎてもペアリングが行われない場合は、Bluetooth マークが消えて設定が解除されますので、もう一度**Bluetooth**ボタンを押してください。
②接続するBluetooth機器のBluetooth機能をONにします。
③Bluetooth機器のBluetoothリストから本機「8RDA73 RHYTHM」を選択します。
ペアリングが完了すると同時に接続状態になり、本機の**Bluetooth**マークが点灯に変わります。

■ 自動接続 登録済みのBluetooth機器に接続するとき

Bluetoothボタンを押すと、**Bluetooth**マークが2秒点滅（約6秒間）して登録済みの**Bluetooth**機器をスキャンして自動接続します。登録済みの**Bluetooth**機器が見つからない場合は1秒点滅に変わり、ペアリング待機状態になります。
※Bluetooth機器によっては、Bluetoothリストから「8RDA73 RHYTHM」を選択する必要があります。
※通信距離は約10mですが、本機とBluetooth機器との間の遮蔽物やノイズにより接続できないことがあります。接続できないときは1m以内の近距離でお試しください。

■ 手動接続 別のBluetooth機器に接続するとき

Bluetooth 機能が OFF（**Bluetooth** マークが非表示）のときに **Bluetooth** ボタンを**約2秒間押す**と、登録済みの Bluetooth 機器を解除します。**Bluetooth** マークが1秒点滅してペアリングの待機状態になりますので、**ペアリングの手順**に従って、別の**Bluetooth**機器を本機に登録してください。

(2) 音楽を聴く

Bluetooth機器と接続された状態で操作します。
接続したBluetooth機器で音楽を再生します。
Bluetooth 機器を適度な音量にして、本機のボリューム（+/−）で音量を調節します。
- スマートフォンと接続使用しているときに、着信があったときのふるまいについては、スマートフォンの説明書をお読みください。

(3) 使い終わるには

次のいずれかの操作を行ってください。
①接続している Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をOFFにする。
②接続しているBluetooth機器の電源を切る。
③本機の Bluetooth ボタンを押して Bluetooth 機能をOFFにする。

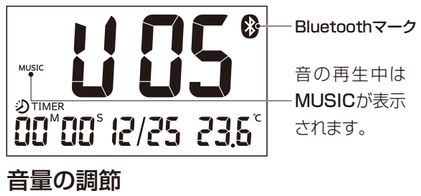
4. 外部入力（AUDIO IN）にケーブルをつないで音楽を聴く

市販のステレオミニケーブルで本機とオーディオ機器を接続することにより、本機で音楽などを再生することができます。
※3.5mmステレオミニケーブルを別途ご用意ください。
①オーディオ機器と本機をステレオミニケーブルで接続します。
②本機の**Bluetooth**ボタンを押して**接続解除**してください。
③オーディオ機器で適度な音量で音楽を再生します。
※Bluetooth 機器と接続状態のときは、外部入力からの音を再生しません。

接続してはいけないステレオミニケーブル
- 4極端子を使用すると機器が故障するおそれがあります。

4極端子

⚠注意 **時計本体の水気をよく拭き取り、乾いた手でケーブルをつないでください。外部入力（AUDIO IN ジャック）にケーブルをつないだ状態では防水性能を満たしていませんので、水のかかる場所では絶対に使用しないでください。**



音量の調節
音量は、Bluetooth 機器側の音量設定の影響を受けます。本機側で音が小さくならない、あるいは大きくならないときは Bluetooth 機器側で音量を調節してください。
※本機側で10段階の音量調節が可能です。（上図は Vol.05）
※操作音のON/OFFと音量は設定できません。

Bluetoothボタンの操作

■ Bluetooth機能のON/OFF
押してすぐに離すと ON/OFF が切り替わります。ON にしたときにペアリング登録されていれば**接続待機**になります。ペアリング登録されていないときは、**ペアリング待機**になります。

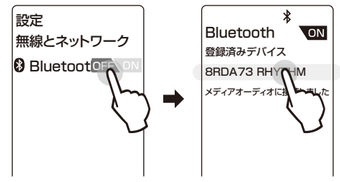
■ ペアリングを開始したいとき
Bluetooth ボタンを押すと、**Bluetooth** マークが点滅して、ペアリング待機状態になります。

操作例 スマートフォンとのペアリング／接続

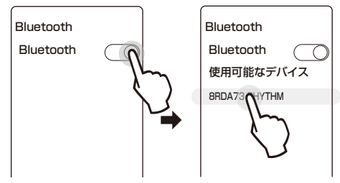
スマートフォンではBluetooth機能がONのとき✱マークが表示されます。具体的な操作については、お使いのスマートフォンの説明書をご覧ください。以下の図は操作イメージです。
※ペアリングするときに、パスワードを求められたときは4桁のゼロ（0000）を入力してください。

Android 2.3.x
「設定」→「無線とネットワークの設定」→「Bluetooth設定」
BluetoothをONにする　本機を選択

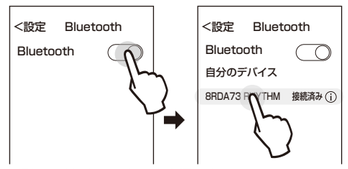
Android 4.x
「設定」→「無線とネットワーク」
BluetoothをONにする　本機を選択



Android 5.x
「設定」→「Bluetooth」
BluetoothをONにする　本機を選択



iPhone
「設定」→「Bluetooth」
BluetoothをONにする　本機を選択



iPhoneは、Apple Inc.の商標です。
Android™、AndroidロゴはGoogle Inc. の登録商標です。

5. タイマーを使う

カウントダウン
設定した時間が経過するとアラームでお知らせ
SETボタンを押してすぐ離すとピッと鳴り、タイマーセットモードになり、時間が点滅します。
①「+」または「−」を押して時間を合わせます。ボタンを長押しすると30秒単位で変わります。
②SETボタンを押して、時間を確定します。
③START/STOP/RESET ボタンを押すとピッと鳴り、カウントダウンを開始します。
④00M00S になると約30秒アラームが鳴ります。アラームを止めるには、START/STOP/RESETボタンを押してください。アラーム音が止まり、設定した時間の表示に戻ります。
※カウントダウンは 99M59S まで設定できます。
※設定中に約30秒間ボタン操作をしないと設定を終わります。

カウントアップ
経過時間を表示する
①START/STOP/RESET ボタンを2秒以上押して、00M00S に戻します。ピッと確認音が鳴ります。
②START/STOP/RESET ボタンを押すとピッと鳴り、カウントアップを開始します。
③START/STOP/RESET ボタンを押すとカウントアップが停止します。
※カウントアップは 99M59S で自動的に止まります。
※カウントアップを停止してSETボタンを押すと、カウントアップは解除されます。必要に応じて「+」または「−」を押して時間を変更してください。START/STOP/RESET ボタンを押すと変更した時間からのカウントダウンを開始します。

カウントダウン/アップ共通の操作
○カウントダウン/アップしているときに、START/STOP/RESET ボタンを押すとカウントを停止します。START/STOP/RESET ボタンを押すとカウントを再開します。
○START/STOP/RESET ボタンを2秒以上押すと、ピッと鳴り 00M00S になります。

防水性能に関する注意事項

ご使用前に「防水性能に関する注意事項」をよくお読みください。記載内容を守らずに使用すると故障の原因になります。
*実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

■防水性能について

電池ぶたやジャックカバーをしっかり取り付けた状態で保護等級 JIS IPX4（防沫形）相当の防水性能を有しております。
*IPX4は、水の飛沫に対する保護規定。
シャワー近くでの使用を想定して、あらゆる方向から5分間散水を行い、浸水がないことを確認します。
*製品の防水性能は、真水と水道水に対応しています。

■ご使用にあたっての重要事項

シャワーの近くなど、水しぶきがかかる場所でも使用できる仕様になっていますが、**完全防水ではありません。**故障の原因になりますので、以下の点について十分ご注意ください。
- **スピーカーの丸い穴を突かないでください。防水性が失われます。**
- **スピーカー部に水が入った場合には、さかさまにして水を出してください。**
- 以下の例のような液体をかけたり、浸けたりしないでください。また、砂や泥なども付着させないでください。防水性を低下させます。
  例.石けん、洗剤、入浴剤などの入った水、海水、プールの水、温泉、熱湯、薬品など。
- 水に浮かべたり、水中で使用しないでください。また、故意に水をかけないでください。

*水にぬれた手でのボタン操作はできます。
- 多量の水がかかったり、水中に落ちたときには、すぐに乾いた布でよく水分を拭き取ってください。
- 浴室などで使用した後は、水分をよく拭き取り、湿気の少ない所に置いてください。
- サウナ、岩盤浴など高温、多湿になる所では使用しないでください。
- 寒い所から暖かい浴室などに持ち込むときは、製品が常温になってから持ち込んでください。急激な温度変化があると製品内部で結露が発生して、さびの発生や回路、電池のショートによる故障の原因になります。
- 電池の交換は、水分をよく拭き取って、湿気の少ない所で行ってください。
- 製品を分解しないでください。
- 防沫用パッキンの防水効果は徐々に低下します。劣化の進行は使用環境により異なります。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。